



竹村仁司 議員

使用料見直しの経緯を

問 合併前の各二町二村の利用料金体制は。

企画部長 屋外スポーツ施設について旧佐織町は有料、その他の町村は無料。なお、照明料は四町村とも徴収していた。

問 パブリックコメントにはどのような意見があったのか。

企画部長 大きく分けて三つになる。一つ目は、見直しに賛成。二つ目は、見直しに反対。三つ目は、見直しに理解はするも再考して欲しい。

問 市民の声にはどう答えるのか。

企画部長 市の補助団体等のうち、市内の中学生以下、または65歳以上の団体の定期的な活動に対しては、経過措置として3年間に限り5割減額の取り扱いを追加する。

生涯学習人材バンクの設立を

問 市内の60歳以上が何名で、そのうちシルバー人材センターに何名登録され仕事についているか。

福祉部長 市内の60歳以上の人口は2月1日現在で、2万2千803人。そのうち登録者は299人になる。シルバーでは職群として八つに分けているが、六つ目の一般作業群は、登録187名のうち185名が就業の実績がある。

問 まちづくり市民会議から提案があった、市民が発信する生涯学習人材バンク設立プロジェクトについては。

教育部長 生涯学習の立場から考えると、今後は先進地域を参考に設置に向けて取り組んでいきたい。



▲まちづくり市民会議「第6回提案の大会」



加藤敏彦 議員

永和荘、市民が利用できる防災拠点に

問 愛知県から永和荘跡地に防災拠点を整備することが発表された。旧永和荘については、平成26年3月議会で、蟹江町の「希望の丘広場」のような避難場所として整備を求めた。今回の発表について、市は、どのように受けとめているか。

市長 旧永和荘が広域防災拠点の候補地として選定されたことは、未利用の県有地活用が図られることはもとより、本市の防災に対しても大変よいことだと考えている。

問 旧永和荘の防災拠点は、地元住民や市民が利用できるように整備をしてほしいが。

総務部長 市民が利用できる施設整備については、今後、県と協議をしていきたい。整備に関する市民の意見は、適宜県に伝えていきたい。

問 今回、県は旧永和荘の土地の約3分の1を活用して整備する。残りの3分の2についてどのように活用するのか。